

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2007.10.17号
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

貴重な瀬上沢の緑を守って!

瀬上沢一帯(横浜市栄区)は、横浜の「緑の七大拠点*」のひとつである「円海山周辺地区」にある緑豊かな谷戸です。ここは、市内最大のホタルの生息地であり、絶滅危惧種であるオオタカが飛び、希少なカントウアオイなど動植物の宝庫となっています。

また、160万年前の貝化石や江戸時代の用水の実態を物語る横堰、たたら遺跡など、貴重な歴史的・文化的遺跡も残っています。

この緑豊かな瀬上の森の一角にマンションと戸建て住宅約660戸、健康福祉施設、ショッピングセンターなど、約16.7%を開発する「(仮称)上郷開発事業」が計画されており、現在環境影響評価が行われています。

この瀬上の森を守ってほしいと、「上郷開発から緑地を守る署名の会」ほか9団体署名

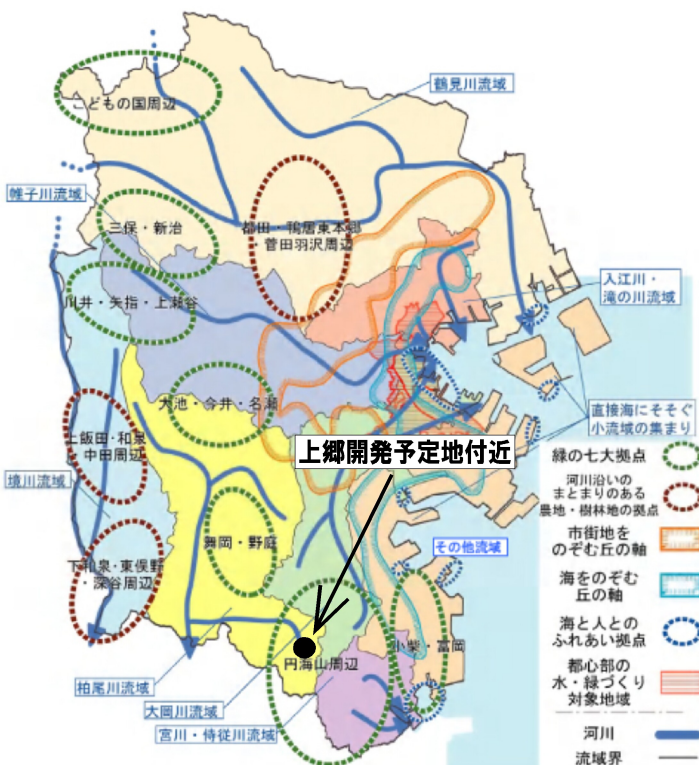


開発予定地は、「瀬上市民の森」に接し、多くのボランティアの手で守られています。

1万5527人が、「上郷開発予定地緑地の前面保全を求める陳情書」を9月に横浜市会議長あてに提出しています。

日本共産党の河治民夫議員(旭区選出)は、いま開かれている2006年度決算特別委員会・環境創造局の審議で、開発予定地を現地調査した上でこの問題を取りあげ、貴重な緑、文化財のある瀬上沢を破壊するわけにはいかないと主張しました。その上で、来年度予算策定に向けて副市長名で出された依命通達で「緑豊かで持続可能な環境の実現に向けたシステムづくり」を掲げていることから、「上郷開発計画についてもこの考えに沿って当然対応すると思うかどうか」と質問しました。

阿部副市長は、「今後出されてくる都市計画提案の検討の中で、上位計画との整合や環境等への配慮等、さまざまな要素を考慮して総合的に対応したい」と答えました。



*緑の七大拠点：樹林地や農地等の自然的環境が連なる郊外部の七つのまとまりのある緑。こどもの国周辺地区、三保・新治地区、川井・矢指地区、大池・今井・名瀬地区、舞岡・野庭地区、円海山周辺地区、小柴・富岡地区の七地区。横浜市は、緑の拠点づくりとしてこれらの拠点を中心とした郊外部の「緑の軸」を形成するため、七大拠点内の樹林地・農地の保全が優先的に進めています。